

(2) 貸借対照表の推移

要約した貸借対照表の推移は以下のとおりである。

要約貸借対照表

(単位：千円)

科目等	平成11年度末	平成12年度末	平成13年度末	平成14年度末	平成15年度末
I 資産の部					
1 現金預金	1,269	23,164	4,589	714	1,370
2 公庫留保金	8,900	7,100	6,100	1,300	7,300
3 未収金	127,651	102,676	102,093	102,628	57,777
4 基本財産	18,800	18,800	18,800	18,800	18,800
5 分収林勘定	30,147,787	31,025,386	31,924,396	32,860,494	33,753,887
6 退職給与引当預金	147,282	135,327	143,126	155,145	163,386
7 森林損害てん補積立預金	74,545	84,779	84,737	84,737	84,737
8 借入金償還積立預金	30,841	47,566	50,262	52,663	52,668
9 自家保険料積立預金	123,600	123,600	123,600	123,600	123,600
10 養生事業積立預金	-	256	-	-	-
11 その他の固定資産	2,034	1,926	2,298	2,642	3,281
資産合計	30,682,712	31,570,583	32,460,005	33,402,727	34,266,810
II 負債の部					
1 未払金	82,601	114,766	72,493	67,957	29,080
2 預り金	1,590	3,769	3,820	1,482	1,157
3 短期借入金	36,000	-	30,000	17,000	16,000
4 公庫借入金	11,007,994	10,974,786	10,924,584	10,863,849	10,794,029
5 社員借入金	12,520,000	13,026,488	13,528,932	14,036,229	14,526,993
6 退職給与引当金	147,282	135,327	143,126	192,697	179,395
7 森林損害てん補引当金	123,600	123,600	123,600	123,600	123,600
8 養生事業引当金	-	256	-	-	-
9 借入金未払利息	6,671,492	7,089,167	7,533,336	8,003,745	8,501,025
負債合計	30,590,561	31,468,160	32,359,894	33,306,563	34,171,282
III 正味財産	92,151	102,422	100,111	96,164	95,528
負債及び正味財産合計	30,682,712	31,570,583	32,460,005	33,402,727	34,266,810

(注1) 公庫留保金は、農林漁業金融公庫からの融資は受けたが未使用の資金をいう。

(注2) 分収林勘定は、公社が土地所有者と契約を締結し、その土地に苗木を植え、育て、将来森林が伐期に達したときに、その収益を両者で分収する事業に支出した累計額である（既に伐採した森林に相当する部分を除く）。

(注3) 森林損害てん補積立預金は、潰地に対する補償を受けた時の時価から原価を差し引いた残額と補償金の交渉時に立木補償金以外に水資源かん養機能が阻害されたとして受領したお金もこれに含め任意積立している。

(注4) 借入金償還積立預金は、潰地に対する補償を受けた時に、将来、滋賀県・下流社員へ返済すべき金額を積立てたものである。

(注5) 自家保険料積立預金は、山火事事故に備えるために、森林国営保険の代わりに、預金を積立てたものである。

(注 6) 養生事業引当預金は、緑化事業に付帯する「苗木に関する瑕疵担保責任」に備えるために、苗木代相当額を積立てたものである。

(注 7) 森林損害てん補引当金は、(注 5) の自家保険料積立預金の積立てに合わせて引当したものである。

(注 8) 養生事業引当金は、(注 6) の養生事業引当預金の積立てに合わせて引当したものである。

(3) 正味財産増減計算書の推移

要約した正味財産増減計算書の推移は以下のとおりである。

要約正味財産増減計算書

(単位：千円)

科目等	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成11~15年度合計	
I 増加の部							
1 資産増加額	2,228,989	2,018,099	1,823,955	1,879,920	1,853,153	9,804,116	(注1)
2 負債減少額	88,306	1,130,786	96,870	99,869	111,655	1,527,486	(注2)
増加額合計	2,317,296	3,148,885	1,920,825	1,979,789	1,964,809	11,331,604	
II 減少の部							
1 資産減少額	1,152,438	1,128,572	922,310	917,326	948,867	5,069,513	(注3)
2 負債増加額	1,166,701	2,010,042	1,000,826	1,066,411	1,016,576	6,260,556	(注4)
減少額合計	2,319,140	3,138,614	1,923,136	1,983,737	1,965,444	11,330,071	
当期正味財産増加額	▲1,844	10,270	▲2,310	▲3,947	▲635	1,534	
前期繰越正味財産額	93,995	92,151	102,422	100,111	96,164	93,995	
期末正味財産合計額	92,151	102,422	100,111	96,164	95,528	95,528	

(注 1) 資金増加額の主なものは、森林及び森林造成仮勘定増加額 9,706,880 千円であり、その内、実質的な数値である森林増加額は 4,976,685 千円である。

(注 2) 負債減少額の主なものは平成 12 年度の公庫借入金返済額 (借換分) 1,007,700 千円である。

(注 3) 資産減少額の主なものは、森林造成仮勘定減少額 4,976,685 千円で森林勘定に振り替えられている。

(注 4) 負債増加額の主なものは、平成 12 年度の公庫借入金借換分 1,007,700 千円と社員借入金増加額 2,521,168 千円と借入金未払利息増加額 2,406,052 千円である。

5 分収造林事業の概要

植林は昭和 40 年から開始され、昭和 47 年度末までに完了したため、それ以後は既植栽地約 7,005ha の造林地のうち、必要とする保育事業(間伐、除伐、枝打、病虫害防除等)、施設(林道等)整備、民間地境界保全、森林改良事業(改植、補植、下刈、木起等)を実施してきた。木材の切り出しは、木材価格の下落等により、当面は全く採算ベースに乗らないため、平成 9 年度から分収造林契約期間を当初の 50 年から 80 年間に変更する契約の更改を進め、当初の切り出し始めの予定時期を平成 16 年から大幅に遅らせる予定である。

第 2 財団法人びわ湖造林公社の概要

1 組織の沿革

(1) 設立年月日

昭和 49 年 3 月 26 日

(2) 設立目的

滋賀県において造林、育林等、森林、林業に関する事業、林業労働力の確保及び育成に関する事業、その他緑化に関する事業を行うことにより、びわ湖の水資源のかん養、県土の保全、森林資源の培養並びに緑豊かな環境の形成等、緑資源のもつ多面的な機能を総合的、かつ高度に発揮させ、もって農山村の振興と住民の福祉の向上に寄与する。

(3) 基本金

1,000 万円

(4) 事業内容

- ①分収造林及び分収育林事業
- ②分収造林及び分収育林制度の促進に関する事業
- ③農山村における森林の総合利用のための事業
- ④林業労働力の確保及び育成に関する事業
- ⑤森林、林業及び緑化に関する事業並びにこれらに関する調査等の受託
- ⑥県が委託する公の施設の管理及び運営に関する事業
- ⑦自然環境の保全及び緑化の推進事業
- ⑧森林、林業に関する普及、啓発の事業等
- ⑨その他この法人の目的を達成するために必要な事業

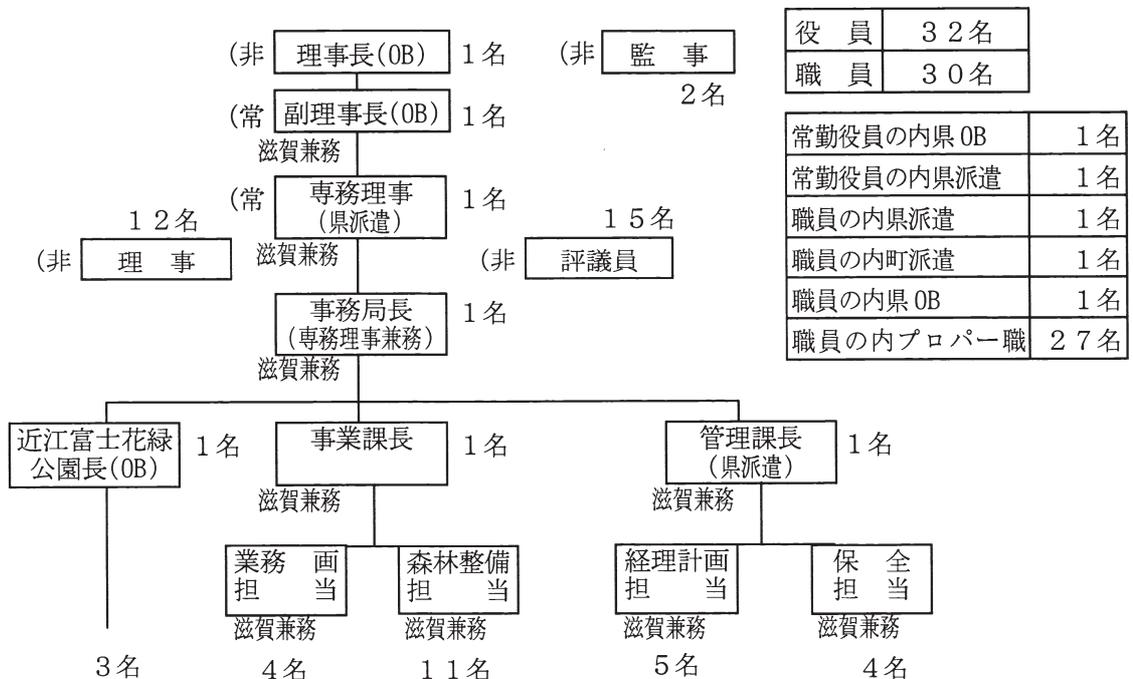
2 組織の状況

(1) 役員数及び職員数

役員 29 名 職員 30 名 (内県の OB 1 名、県からの派遣職員 2 名)

(職員は滋賀県造林公社職員を兼任)

(2) 組織図 (平成 16 年 4 月 1 日現在)



3 出えんの状況

滋賀県が全額 (1,000 万円) を出えんした。

4 財務内容

以下の計算書類は一般会計のみであり、特別会計は含めていない。

(1) 収支計算書の推移

要約した収支計算書の推移は以下のとおりである。

要約収支計算書

(単位：千円)

科目等	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
I 収入の部					
1 基本財産運用収入	27	16	11	3	3
2 分収林事業収入	37,321	42,408	15,201	4,734	3,568
3 受託事業収入	15,557	80,591	46,334	21,866	25,986
4 森林総合利用事業収入	394	323	323	339	287
5 補助金収入	364,220	341,252	342,056	344,368	230,959
6 交付金収入	-	-	-	27,425	73,799
7 雑収入	19,351	18,797	14,118	8,889	5,787
8 長期借入金収入	1,940,201	9,487,924	1,643,504	1,648,694	1,540,602
9 特定預金取崩収入	13,627	41,818	577	1,015	1,760
当期収入合計 (A)	2,390,701	10,013,132	2,062,127	2,057,336	1,882,754
前期繰越収支差額	19,403	19,811	16,936	14,729	30,503
収入合計 (B)	2,410,105	10,032,944	2,079,064	2,072,066	1,913,258
II 支出の部					
1 分収造林事業費	719,450	622,173	522,312	515,548	341,678
2 交付金事業費	-	-	-	27,425	73,799
3 普及啓発事業費	3,940	3,420	2,600	2,600	2,170
4 森林総合利用事業費	892	698	698	569	387
5 受託事業費	15,457	80,145	45,454	20,324	23,034
6 管理費	237,703	257,372	205,014	197,079	176,834
7 固定資産取得支出	-	1,250	2,056	2,363	2,572
8 長期借入金返済支出	1,379,006	9,014,168	1,276,355	1,272,246	1,276,217
9 特定預金支出	33,118	35,979	9,021	2,694	3,286
10 繰入金支出	725	798	820	711	1,011
11 予備費	-	-	-	-	-
当期支出合計 (C)	2,390,294	10,016,007	2,064,334	2,041,562	1,900,992
当期収支差額 (A)-(C)	407	▲2,874	▲2,207	15,774	▲18,237
次期繰越収支差額(B)-(C)	19,811	16,936	14,729	30,503	12,265

(注1) 森林総合利用事業収入は、主に近江富士花緑公園の自動販売機等の手数料収入である。

(注2) 分収林事業収入、受託事業収入、交付金収入、分収造林事業費の説明は滋賀県造林公社の項を参照。

(注3) 平成12年度のI収入の部 8長期借入金収入9,487,924千円、II支出の部 8長期借入金返済支出9,014,168千円が他年度と比べて異常に多い理由は公庫借入金の借換分7,650,550千円が両方に含まれているからである。